

ドビュッシー：
ヴァイオリン・ソナタ
Claude Debussy: Sonata for Violin and Piano

サティ：
ジムノペディ第1番
Erik Satie: Gymnopédie No.1(Piano Solo)

ラヴェル：
ラ・ヴァルス
Maurice Ravel: La Valse (Piano Solo)

イザイ：
無伴奏ヴァイオリンソナタ第4番
ホ短調 op.27-4
Eugène Ysaÿe: Sonata in E minor for Solo Violin, Op.27, No.4

フランク：
ヴァイオリン・ソナタ イ長調 FWV8
César Franck: Sonata in A major for Violin and Piano

©Nortzumi, Kikuda, Universal Music
Yasunao Ishida, Violin

石田泰尚

務川慧悟

©Art Foret
Keigo Mukawa, Piano

DUOリサイタル

熱い演奏と圧倒的な存在感で魅了するヴァイオリニスト石田泰尚
その石田が共演を熱望したピアニスト務川慧悟との特別なデュオ

2026
① 10/17 開場13:15
開演14:00

14:00 Saturday, 17th October 2026

柏崎市文化会館
アルフォーレ 大ホール

Kashiwazaki-City Performing Arts Center, Art-forêt

☎0257-21-0010 (9:00~19:00 火曜休館・祝日の場合は翌日)

〒945-0054 新潟県柏崎市日石町4番32号

<https://www.artforet.jp>

柏崎市文化会館 アルフォーレ

チケット 全席指定・税込 未就学児入場不可

一般 ¥6,000 高校生以下 ¥3,000

※高校生以下のチケットはアルフォーレのみの取り扱いです。
当日、学生証の提示をお願いする場合があります。

アルフォーレ賛助会員
優先発売

6/25(木) WEB・電話 10:00~、窓口 13:00~

一般発売

6/26(金) WEB・電話 10:00~、窓口 13:00~

プレイガイド

柏崎市文化会館アルフォーレ

【窓口・電話】10:00~18:00 【WEB】

- ・チケットぴあ (Pコード:326-172)
- ・ローソンチケット (Lコード:34148)
- ・e+(イープラス) <https://eplus.jp/>
- ・Live Pocket <https://t.livepocket.jp>

主催 柏崎市文化会館アルフォーレ (公益財団法人かしわざき振興財団)
共催 SOGEI(ソーゲイ)

【私たちはアルフォーレの芸術文化事業を支援しています】
株式会社プルボン/株式会社植木組/二幸産業株式会社 新潟支社





石田泰尚(ヴァイオリン)

Yasunao Ishida, Violin

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミュゼ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を2022年から隔年で開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。2025年12月より川崎市市民文化大使に就任。2026年10月11日には石田組で大阪城ホール公演が予定されている。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

お知らせ

- ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- 車椅子席をご希望の方は、アルフォーレまでお問い合わせください。
- 託児室をご利用の場合は10月2日(金)までにアルフォーレにお申込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。(生後6ヶ月以上～未就学児対象・500円)
- 都合により、公演内容の一部(曲目等)を変更する場合がございますのでご了承ください。
- 開演時間に遅れますと入場をお待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 20名様以上の団体予約も受け付けます(割引あり)。詳しくはお問い合わせください。

賛助会員(個人・法人)募集のご案内

充実した事業を行うために、アルフォーレを応援、支援して下さる会員を募集いたします。

※特典等の詳しいことはお問合せください。

(個人) 入会金1,000円、年会費2,000円 (法人) 年会費10,000円～

務川慧悟(ピアノ)

Keigo Mukawa, Piano

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第3位、2019年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクール第2位。日本とフランスを拠点に、リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演を重ね、バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーを持つ。作曲家の様式と時代性に深く根ざした解釈、精緻な構築力と多彩な音色による詩的な表現に定評があり、現代のピアノのみならず、古楽器フォルテピアノの奏法研究にも取り組み、作品理解を基盤とした演奏の深化を続けている。CD「ラヴェル：ピアノ作品全集」(NOVA Record)はEtcetera Recordsより再リリースされ、フランス「Le Monde」紙をはじめ各メディアで高く評価されるとともに、フランスの音楽批評サイト「Res Musica」が選出する《Clef d'Or ResMusica 2024》を受賞。フランス人以外としては異例の受賞となり、国際的評価を確立した。2025年、ラヴェル生誕150年記念全曲演奏会および「革新のベートーヴェン」と題したリサイタルツアーを夏冬に開催し、精緻を極めた表現と詩的な響きが織りなす圧巻のステージで聴衆を魅了。2026年2月には、フォルテピアノとモダンピアノを用いた2日連続公演を大阪・東京で行い、楽器特性の差異を通して音楽像を浮き彫りにする試みが大きな反響を呼んだ。近年は文筆にも活動の幅を広げ、『小説すばる』で連載中のエッセイ「ピアノとワインと、ときどきパリ」が好評を得ている。令和2年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞、第33回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第33回出光音楽賞受賞。

公式サイト <https://keigomukawa.com/>

交通のご案内



- JR柏崎駅より徒歩約7分
 - 柏崎I.C.より車で約10分
- 無料駐車場約500台(車椅子・思いやりスペース20台を含む)